

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス 陽		8 年 3 月 1 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペースは十分確保できている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動スペースは段差のないワンフロアとなっている。療育向けの液晶タブレット等も同時利用可能な台数を確保している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日職員による清掃を徹底しており、空調や採光においても快適な環境を提供している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		フロアをアクリルセパレートを導入することで、個別療育にも対応できるスペースを確保できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		療育前に事前の打ち合わせと療育後の療育記録を確実におこない職員間で共有している。	管理者や職員間との情報交換を密に取ることでPDCAサイクルの有効化を図りたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケートについては職員全員で検討会を行い療育の充実に向け論議を深めている。	アンケートから安全に向けた取り組みとして出入口の施錠を徹底させている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の療育記録から課題点を見出し、その都度改善に向け話し合いをおこなっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者による評価は実施していない。今後の検討課題に加えていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員会議を定例化し、職員研修の場となるよう工夫している。	外部研修の参加機会を確保していきたい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムは毎月作成し、ホームページでも指導内容は公表させてもらっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		相談支援事業者や保護者の方からいただいた情報をもとに個別支援計画を作成している。	出来るだけ長期的視点から個別療育の方向性を検討していきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		サービス計画は職員会議で内容の検討をおこない、共通理解を図っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		日々の療育内容は、支援計画に沿い事前の打ち合わせを行い行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	職員が日々入力して作られる行動観察記録は、事業所独自の様式でデータベース化している。	標準化されたツールは準備しておらず、今後の検討課題として捉えていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		サービス計画の作成においては、ガイドラインを熟読し、内容の理解に務めるとともに提供すべき支援内容がニーズに対応するよう個別支援計画を立案している。	ご利用者や保護者様の求められている支援内容や困りごとに関する情報を細かく取り入れ支援内容に反映させていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは、職員会議で内容を論議しながら作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムは個別で対応している。	利用者の個性に応じて、療育内容は職員間で検討しており、やる気を引き出せるよう変更を重ねている。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育を中心しながらも、療育効果を高める為、集団療育も取り入れている。	集団療育を通してコミュニケーション力を高める内容を今後さらに検討していきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		児童の受け入れ前に、療育の具体的内容を話し合っている。	職員の専門性を生かしながらも、チームでの連携を大切に支援内容の充実を図りたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後、その日の療育活動についての療育記録を必ず作成し気付きを共有している。	療育記録を職員研修の材料としてさらに充実させていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援記録は、データベース化しており、個人別にも一覧表示で確認できるようにし、支援の改善につなげている。	療育記録の読み合わせを通して支援内容の検証・改善につなげたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングは総合的評価、支援目標に沿ったの評価を実施しております。	モニタリング内容をデータベース化することで、個別療育の改善につなげたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		個別支援計画は4つの基本活動を組み合わせ作成している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個別療育は、やってみよう、チャレンジしたい内容を聞き取り実施している。	療育前の打ち合わせを十分に行い、興味関心を高める支援内容の準備を図りたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管が出席しています。その際、個別療育記録の内容を職員と共有した上で参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各種機関との連携は十分とは言えない状況です。スクールソーシャルワーカーの方との連携による児童の受入ケースは多い。	各種機関との連携は今後の検討課題である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有（学校行事、下校等）は保護者様からの連絡で調整しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		ご利用されている児童が中高生や小学校高学年のため情報共有はできていません。	フェースシート等を活用して情報の共有を図りたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		高校卒業後の進路が進学中心でまだ障害福祉サービス事業所の例がなく支援内容を提供したことがない。	進路の多様化に向け、いつでも情報共有できるよう療育内容の記録、保存をしっかりと行いたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		経験がない。	今後の検討課題である。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		交流の経験はない。	今後の検討課題である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会への参加はない。	今後の検討課題である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者の方と直接お話しして意見交換などを行い療育の改善を図っている。	療育時の状況を詳細に報告できるよう療育記録はしっかり保存しておきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家族が参加できる研修の機会など実施できていない。	今後の検討課題である。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時間の際に、重要事項説明書の説明とともに支援プログラム、利用者負担なども同時に説明している。	今後とも分かりやすい説明に心掛けたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用契約時の重要事項説明書の説明時におこなっている。	今後とも分かりやすい説明に心掛けたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		サービス計画を作成した際に、保護者の方の意見をお聞きした上で、サービス計画の同意を受けている。	サービス計画に対する意見等を自由に記載するような文書を準備していきたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご家族からの子育てに関する悩み等を受けた際は、出来るだけ速やかに職員と協議し対応させていただいている。	気軽に相談できる雰囲気を通して面接機会を設けていきたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	父母の会の開催依頼やごきょうだい同士で交流する機会を設けてもらいたいなどの依頼はなく実施していない。	保護者会の開催については今後の検討課題としていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	責任者を中心に誠意をもって対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	活動概要等はHPで公開している。また行事予定は毎月配布し参加確認をとっている。	SNSによる情報発信は、個人情報漏えいなどを心配しており実施する予定はない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	職員研修を実施し、個人情報の漏えいが起きないように注意している。	情報発信については今後とも細心の注意を払いたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	視覚支援等工夫しながら意思疎通をおこなっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	事業所の安全を確保するためにも地域住民の招待はやっていない。	地域住民との交流は保護者の方のご意見も参考に考えていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	毎年、防災・避難訓練等を実施している。また各種マニュアルも策定している。実施記録は保護者向けに配布予定。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画（BCP）は策定している。また毎年定期的に見直し、避難訓練等も定期的に計画を立て実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	契約前に、アセスメント表に記載していただき、さらに詳しい状況をお聞きしている。	適時、保護者の方との連絡は図ってきたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食物アレルギーの確認はアセスメントシートに記載していただき対応している。	適時、保護者の方との連絡は図ってきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	研修や訓練も年間計画を立て実施している。子供たちを含めた防災訓練も実施している。	安全管理においては施設内外の安全確保に今後とも努めていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全確保の為、送迎時間など事前に計画を立て保護者の方との連絡は徹底しておこなっている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットの事例については、他事業所の例も参考に職員会議で共有し、再発防止に向けて検討をおこなっている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待の防止に向け、職員研修会を実施しながら適切な対応にこころがけている。	職員研修会のさらなる充実を図りたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	利用契約時に、事例を挙げながら説明し了解を得ている。	身体拘束に組織的に対応するためにも、職員研修を充実を図りたい。	